

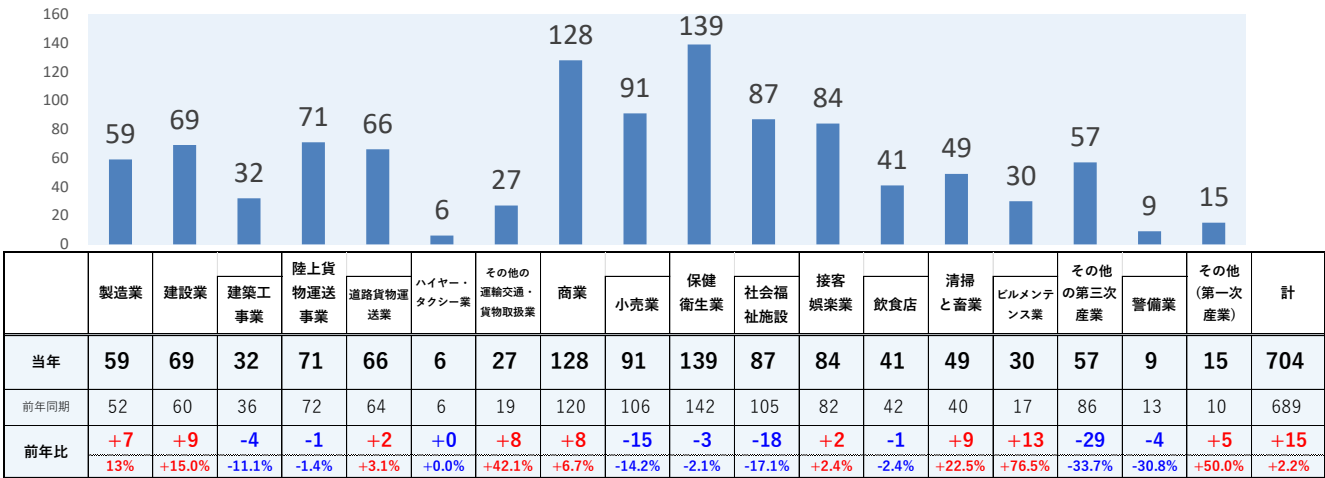
八王子労働基準監督署管内の労働災害発生状況

令和7年1月～12月（確定値）

◆死亡災害

0人

◆死傷災害（業種別）

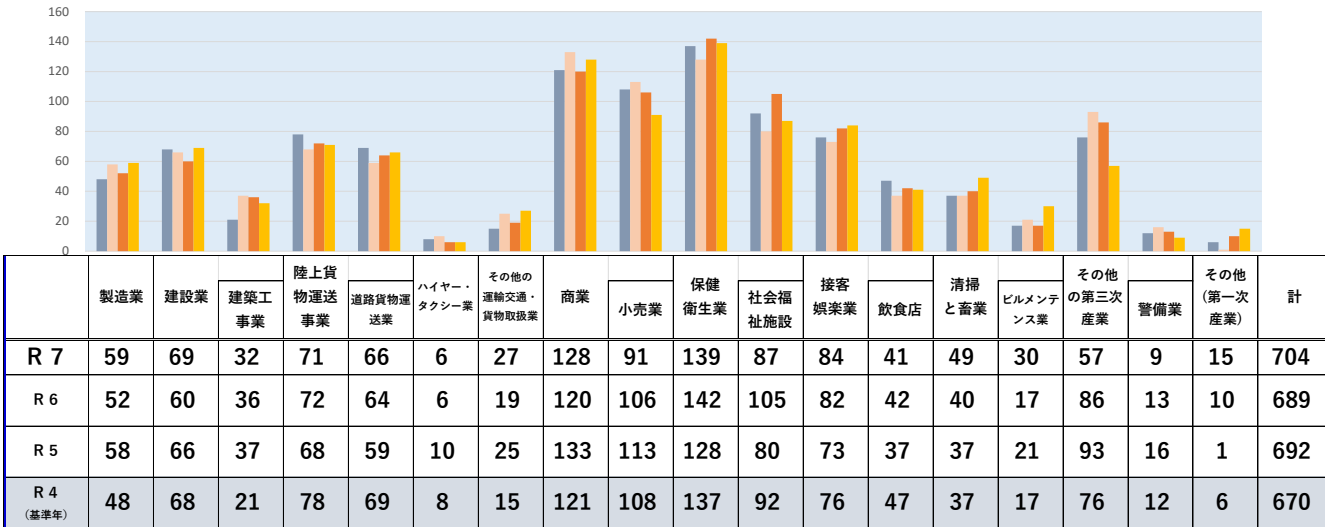


（注1） データは労働者死傷病報告による死亡及び休業4日以上の災害（新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く）
（注2） 「陸上貨物運送事業」は道路貨物運送業と陸上貨物取扱業の合計値

- 死亡災害は0人
- 令和7年の労働災害発生状況は704人と、前年同時期より15人増加
- 業種別では「保健衛生業」が139人（3人減）と最も多く、次いで「商業」が128人（8人増）
- 中分類では、「小売業」が91人（15人減）、「社会福祉施設」が87人（18件減）と大幅に減少。「ビルメンテナン

ス業」は30人（13人増）と大幅に増加

14次防期間中の推移（業種別）



- 14次防3年目の労働災害発生状況は、基準年と比較して全体で+34人（+5.1％）となっており、目標（基準年と比較して5％以上の減少）達成に向けて、更なる取組が必要な状況
- 業種別にみると、基準年と比較して以下の業種等では災害が減少
「陸上貨物運送事業」「ハイヤー・タクシー業」「その他の第三次産業」「接客娯楽業」のうち「飲食店」
- 一方で、基準年と比較して以下の業種等では災害が増加
「製造業」「建設業」「保健衛生業」「接客娯楽業」「清掃と畜業」「その他（第一次産業）」